

## 大腸がんの 予防と治療



徳島大学病院  
消化器・移植外科 助教  
にしおかまさのり  
西岡将規氏

大腸がんは、この二十五年間で罹患数は五倍、死亡数は四倍に増加しています。その予防は、加工肉の過摂取を避け和食中心の食事、肥満にならない適度な運動が重要です。検診は便潜血検査ですが、徳島県の検診受診率は一〇・二%であり、全国で二番目に低率です。

治療では低侵襲治療として内視鏡治療に加え、腹腔鏡手術が普及し、最近では進行がんにも適応できるようになりました。最近は、肛門に近い大腸がんでは人工肛門を回避し、局所再発を抑制するために術前に化学放射線療法が行われることもあり、腹腔鏡手術を併用するオンリーワンの治療も可能です。

大腸がんは検診により早期発見を行い、適切な治療を受ければ、予後は決して悪くありません。



 徳島大学病院がん診療連携センター

お問い合わせ

■徳島大学病院: Tel.088-631-3111

■がん診療連携センター: Tel.088-633-7312

■徳島がん対策センター相談窓口: Tel.088-633-9438